

2015年度杏林大学英語

解答

[I]

- (ア) ①
- (イ) ①
- (ウ) ④
- (エ) ①
- (オ) ②
- (カ) ②
- (キ) ④
- (ク) ①
- (ケ) ①
- (コ) ③
- (サ) ④
- (シ) ②
- (ス) ③
- (セ) ④
- (ソ) ②

[II]

- (ア) ②
- (イ) ④

- (ウ) ②
- (エ) ①
- (オ) ③

[III]

- (ア) ②
- (イ) ③
- (ウ) ③
- (エ) ②
- (オ) ④
- (カ) ③
- (キ) ②
- (ク) ④
- (ケ) ③
- (コ) ④

[IV]

- (英文1)
- (ア) ②
- (イ) ②

- (ウ) ④
- (エ) ④
- (オ) ③
- (カ) ④
- (キ) ①
- (ク) ③
- (ケ) ④
- (コ) ③

(英文2)

- (サ) ②
- (シ) ①
- (ス) ④
- (セ) ③
- (ソ) ①
- (タ) ④
- (チ) ③
- (ツ) ①
- (テ) ④
- (ト) ④

配点

I.各2点 (2×15) II.各2点 (2×5) III.各2点 (2×10) IV.各2点 (2×20)

[I]

(ア) ①

「もしそこにくらかの楽しみと喜びがある場合を除き、これらの行動はほとんどあなたに身に付かないだろう」

them は those behaviors を指す。接続詞 unless = if not が適切である。

○stick with 「離れない」

(イ) ①

「私は今朝目が覚めたときに、シェイプアップすることを決めた」

decide that S+(should) V の構文である。determine も同じ形を取る。

○wake up 「起きる」、○get in shape 「体を鍛える、体調を整える、シェイプアップする」

(ウ) ④

「私はたびたび思う。もし私の為に何か描くよう頼まれていたならば、その画家は何を描いたのだろうか」

仮定法過去完了の疑問文である。仮定法において if を省略すると倒置になる。(= if he had been asked ~)

(エ) ①

「もしあなたがクレイジーなら、みんなが不可能だと言ったことをするかも知れない」

先行詞が something であることから主格関係代名詞 that を使う。

(オ) ②

「P は “keep” という単語のまさにその最後の文字である」

形容詞 very 「まさにその、ちょうどその」が適切である。

(カ) ②

「その驚くべき発見の後に、1、2年のちにその同じ種類の別の発見が続いた」

be followed by ~ 「主語の後に続いて～が起こる」

(キ) ④

「世界で今現在、これに注目している約6つのプログラムがある」

half a dozen programs = a half dozen programs 「半ダースのプログラム」と表現する。

e.g. half a dozen eggs 「玉子半ダース」, half a dozen bottles 「瓶6本」

(ク) ①

「いわゆる“西洋科学”の大部分は、実際にはヨーロッパ人でない人によって作り出された」

ofの後が単数名詞のため many は使えない。much of+単数(代)名詞「~の多く、大部分」という意味である。

○so-called 「いわゆる」、○work out 「苦心して作り出す」

(ケ) ①

「その当時、その知識を含むテキストはついにヨーロッパに向かって進んだ」

make one's way to ~ 「前進する、~に向かって進む」というフレーズである。

○in those days 「その当時、その頃」

(コ) ③

「私はほとんど知られていないが、どこにでも見つけられるその材料を使うことに決めた」

little+不可算名詞「ほとんどない」は、否定の意味を表わす。

○material 「材質、材料」

(サ) ④

「2~4時間おきに日焼け止めを塗らなくてはならなかった。これは至難の業である」

be no small feat 「至難の業である」という意味である。

○put on sunscreen 「日焼け止めを塗る」

(シ) ②

「すべてがよく見えて、すべてが機能している。しかし実際は違う。これらの技術は実際それほど簡単ではない」

easy を修飾する副詞 that が入る。

(ス) ③

「かつてある区画に建てられた最初の家は、家番号1である」

○on a block 「ある区画に」、○house number 「番地、家番号」

(セ) ④

「私は研究者です。そういうわけで、聴衆を無料で寝付かせます」

for free 「無料で」が適切である。

○academic 「研究者」, ○put ~ on sleep 「~を寝付かせる, 眠らせる」

(ソ) ②

「彼らは、実際その神聖な場所を持つ人々は、今のところまだ生まれていない世代であると主張する」

as yet 「将来はともかく今までのところまだ」は否定文で用いる。as yet unborn 「まだ生まれていない」

○sacred place 「神聖な場所」

[II]

(ア) ②

A: 「なんて素敵なレストラン! メニューもたくさんの選択があるね」

B: 「遠慮なく好きなものはなんでもオーダーして下さい。私のおごりです」

whatever you like 「あなたが好きなものは何でも」が適切である。

(イ) ④

A: 「てつやとけんかしたようですね」

B: 「確かにそうです。私に嘘をついてから以前のようににはもう戻れません」

A: 「誰かをもう信じることができないときは大変です」

他の選択肢は文脈に合わないので、消去法で no longer 「もはや~ない」を選ぶ。

○have a falling out with ~ 「とけんかする」

(ウ) ②

A: 「あなたが訪問した理由はなんですか」

B: 「環境科学の仕事において、できることならキャリアを積みたいのです」

A: 「それで我々の分子研究所のインターンシップに興味があるのですね」

B: 「まさにそういう訳でわたしはここにいます」

the nature of your visit 「あなたの訪問の理由」という意味である。e.g. The nature of this call is ~. 「この電話をした理由は~です」

○pursue a career 「キャリアを積む」, ○molecular 「分子の」

(エ) ①

A: 「京都行きのバスはあと 1 時間で出発します」

B: 「間に合うことができるかどうか分からない」

A: 「どういう意味ですか。私は準備するための時間が十分なかったけれどもここにいます」
会話の内容から、過去形の **scarcely had** 「ほとんど～なかった」が適切である。

○ **get ready** 「準備する, 用意する」

(オ) ③

A: 「それは本当にかっこいい自転車ですね」

B: 「セールでどうしても買わずにいれなかった。もしあなたがそれを手に入れることに興味があるなら, どこで買ったか教えるつもりです」

A: 「結構です。あなたがもっているというだけで同じものを買うつもりはありません」

That's OK. という断る内容になっているので, **not ~ only because ~** 「単に～だからといって～ない」が適切である。

○ **cool** 「かっこいい」

[III]

(ア) ②

would → **should** 「彼のチームらが奨学金を与えられるのもどうみても適格だ」

It is 形容詞 **that ~ (should)** の構文では, 形容詞の種類によって **that** 節内に **should** が用いられる。事の是非を問うような形容詞, **appropriate, natural, reasonable** などである。

○ **It is only appropriate.** 「どうみても適切だ」

(イ) ③

don't → **doesn't** 「私眼科学を選ばなかったというだけで, あなたが選ばなくてよいという意味にはならない」

主語 **Just because I didn't choose ophthalmology** が三人称単数の為, **doesn't** になる。

○ **ophthalmology** 「眼科学」

(ウ) ③

I realized → **did I realize** 「私自身が病気になって初めて医師として病気の人がどのように感じるのか気が付いた」

not ~ until ~ 「～して初めて～する」構文の倒置になっている。疑問文の語順にすることが

ポイントである。

(エ) ②

turns → remains 「何が起きるかわからないものだ」

remain to be 過去分詞「されていない」という肯定文で否定の意味を表わす構文である。本問では seen が続き、「これから先あることが起こるのか、起こるのかどうかかわからない」という意味を表わす。疑問詞や if, whether 節が続く。

(オ) ④

bankruptcy → bankrupt 「私の母はそのリストに載っている会社のその当時の社長の秘書だったが、それはバブル経済の崩壊の後、倒産した」

bankruptcy は「倒産」、go bankrupt は「破産する」という意味である。

(カ) ③

most → mostly 「ウッドストックロックコンサートには大勢の聴衆がいて、彼らはほとんど若者だった」

most は形容詞、mostly 「ほとんど、大部分は」は副詞である。

○a large audience 「多くの聴衆」

(キ) ②

much more → many more 「その問題の核心は、植林されるよりもはるかに多くの木が伐採されていることである」

可算名詞の複数形を修飾しているので many more となる。

○crux 「ポイント、核心」

(ク) ④

have to → has to 「心理学の違った見方をその授業でももいいかなと思うし、カウンセリング方法の為に言語学が提供しなくてはならないことをためしてもらってもいいと思う」

linguistics 「言語学」は不可算名詞なので三人称単数扱いである。

(ケ) ③

learn → to learn 「杏林大学はよい医師になるために必要な知識とスキルを学ぶ為のあらゆるチャンスを与えます。」

opportunity to learn 「学ぶ為のチャンス」形容詞的用法の不定詞が必要である。

(コ) ④

gender equal → gender equality 「杏林大学は 2014 年 4 月、学術研究推進センターを設立し、男女平等の問題に取り組む為に積極的に対策を取ってきた」
gender equality 「男女平等」が適切である。

[IV]

(英文 1)

和訳

医師と患者の関係は、他のどんな関係とも異なる。人々は医師に基本的で親しみを覚える方法で自分たちのことをわかってもらうことを期待し、医師は正しく看護し治療するために患者を知る必要がある。これは意思を伝え合うことの第一原則である。つまり“意思伝達は患者が病気の話をする必要性和医師がそれを聞く必要性に役立つべきである。”話をする事は、体調不良の意味や病気の意味が医師と患者の両者によってまとめられて解釈される方法なのである。

患者は、自分の担当医が個人として自分に個人的な興味をもって、自分のことが好きで、心配してくれて、彼らの幸福のために全力で取り組んでいて、そしてその結果として苦しんで良い仕事をしているだろうと感じる必要がある。知ってもらえて、理解されていると感じる基本的な必要性の実現は患者が話をする事から始まる。話をする事はまた、それ自体で治療になりうる。なぜならば、精神的な安心と洞察や将来の見通しの為の機会を与えるからである。医師にとって、患者の話は、患者が提供する多くの症状や手がかりを理解して解釈するのに必要な臨床洞察の為の前後関係を与えてくれる。

各医師が平均 2500 人の患者を持っているという計算は、その患者の担当医が各患者 2500 人の経験に等しいわけではない。それぞれの患者は、その治療は個人的なニーズに独自に合わせてもらうことを期待するが、患者は、一年を通して数回のスケジュール化されている短い予約のコマの制限内で、これらのニーズを表わさなくてはならない。この状況において、患者は独自のアイデンティティを確立してみようとする。そこでは、患者は自分の話をして、そして自分の話を聞いてもらったと感じる経験をする機会を探し求めているのである。

しかし話をするということはそれほど簡単でない。なぜならば患者は、その話が、担当医が求めていると推測できる生死に関わるようなレベルの基準に合わないのではないかと恐れるあまりに、話はなされないかもしれない。これは不幸なことである。特に、そうであるのは、医師は関心をもたない、又はその話は重要でないという患者の思い込みが、はっきりとわかる態度で、まれに表明されるからである。もし医師が話しかけるといこと

を容易にしなければ、もし患者が話し続けることを働きかけてもらえなければ、その患者は非常に多くの場合、話さないことになるだろう。

話をする過程を容易にすることは、患者の返答を制限したり定義したりするような厳しい条件がまったくない時に、一番達成される。患者の話は最初に示された問題には限らない。患者は、医療サービスの為の『入場券』として医療への不満をたびたび述べる。例え最も重要で優先事項の高い懸念がこの不満と無関係であるかもしれないとしても。

医療訪問の最初の 90 秒に焦点をあてた研究では、医者最初の質問に対する患者の返答が完結されたのは、その調査された訪問のうちのたったの 23%であることがわかった。その調査された訪問の 69%において、医師は、平均たった 15 秒後、述べられた問題について徹底的に追求する為に、患者の最初に述べようとしたことをさえぎっていた。これらの訪問のうちたった一例だけにおいて患者は、最初の述べようとしたことに戻るチャンスを与えられ、完結することができた。話し続けることを許された患者 30%について、彼らが述べている時間は、2 分半以上はかかっていなかった。さらに、この訪問を通して患者によって提示された懸念を分析すると、最初に語られた心配ごとが、後で語られた心配事よりも臨床的に重要でないということがわかった。しかしながら、後で語られた心配事は、成り行きで提示される傾向にあり、患者は医師からの首尾一貫していない関心を受けることになる。約 15 年後のこの研究の反復実験では、患者からの話そうと思っていることに対する医師の関心において、ほとんど変わっていないことが判明した。つまり患者の最初に述べる心配ごとは、診察する時の面談において、たったの 28%しか話を完結させることができず、患者から最初に話をする内容は、平均 23 秒後に違うトピックへと切り替えられていたのである。

<出題された単語・熟語・文法・センテンス>

- intimate 「親密な, 親しい」
- truly 「正確に」
- illness 「病気, 体調不良」
- disease 「病気, 重病」
- integrate 「まとめる」
- interpret 「解釈する」
- committed to 「～に全力で取り組む」
- consequently 「その結果として」
- take pains to 「苦心して～する」
- fulfillment 「達成, 実現」
- therapeutic 「広い意味での治療」
- in its own right 「それ自体で」
- cathartic release 「精神的な安心」 *psychological relief. e.g. Crying is a cathartic

release.

- insight and perspective 「洞察と将来の見通し」
- the context for the clinical insight 「臨床洞察の為の前後関係」
- arithmetic 「計算, 勘定」 * 数学用語
- constraint 「制限, 制約」
- short appointment block 「短い予約コマ」 * 曜日や時間によって設けられた診療を受ける際の予約のコマ
- in this context 「この状況において」
- establish their unique identities 「独自のアイデンティティを確立する」
- life and death intensity 「生死にかかわるような強さのレベル」
- unfortunate 「不幸な」
- patient's assumption 「患者の思い込み」
- be address in a explicit manner 「はっきりとわかる態度で表明される」
- facilitate the story telling 「話をするということを容易にする」
- be not encouraged to ~ 「~することを働きかけてもらえない」
- very often 「非常に多くの場合」
- medical care 「医療サービス」
- medical complaint 「医療の不満」
- the primary and most pressing 「最も重要で優先順位の高い」
- unrelated to ~ 「~と無関係である」
- the visits studied 「その調査された訪問 (全体)」
- follow up on 「~について徹底的に追求する」
- analysis the concerns raised by patients 「患者によって提示された懸念の分析」
- in a haphazard manner 「成り行きで」
- inconsistent attention 「一貫性のない注意」
- receive inconsistent attention 「首尾一貫していない関心を受ける」
- replication of this study 「この研究の反復実験」
- patient's agenda 「患者が医師に話そうを思っているリスト」
- be redirected 「違うトピックなどへ切り替えられる」

(ア) ②

by the method 「その方法によって」

mean ではなく means 「手段, 方法」であれば入れることができる。ways は, 主語に合わせて way 単数であれば入れることができる。

(イ) ②

when there are no strict parameters ~ 「(患者の返答を制限したり定義したりするような) 厳しい条件がまったくない時に」という意味である。ここでの parameters は, conditions 「条件」である。選択肢の中から選ぶならば「相手に求める依頼, 請求」を意味する request が適切である。

○border 「境界」, ○passage 「廊下, 文章」

(ウ) ④

「なぜ患者は話を続けたくないと, 筆者は思っているか」

第4段落第2文 the patient's assumption that the doctor is not interested or that the story is unimportant is infrequently addressed in an explicit manner. から④「患者は自分の話が医師に話すにはそれほど重要でないと感じている」が適切とわかる。

○assumption 「思い込み」, ○infrequently 「まれに」, ○explicit 「明白な」

(エ) ④

「テキストによれば, 医療訪問の初めの90秒に何が起きているのか」

第6段落第1・2文に述べられている。④「患者はほとんどの場合, 最初に述べたことを完了することから, 違う話題へと切り替えられている」が適切である。

○majority 「大部分」

(オ) ③

「テキストによれば, どのようにして患者はコミュニケーションの過程を始めているのか」

第5段落 Patients often state a medical complaint as a “ticket of entry” to medical care, より, ③「会話の最初を容易にする為に医療への不満を用いている」が適切である。

○at the onset 「最初に」 = at the beginning

(カ) ④

「第6段落によれば, 医師と患者の関係における研究について何が意味しているか」

④「医師も患者もどちらも, もっと効果的に意思を伝達してきていない」が適切である。

○significant 「意味のある, 重要な」, ○neither A nor B 「AもBもどちらも～ない」

(キ) ①

「テキストから何が推測されるか」

第1段落に述べられている内容から, ①「効果的なコミュニケーションは医師と患者の両方の責任である」がふさわしい。

②「医師の受け持っている患者数にもかかわらず, 効果的なコミュニケーションは起こり

えない」

- ③「医師と患者の関係は、親密な共有の病歴に基づいている」
- ④「患者はもっと効果的にコミュニケーションの過程を簡単にする必要がある」
- infer「推測する」、○patient load「医師の受け持っている患者数」○in-depth「親密な」、○history「病歴」

(ク) ③

「テキストによれば、患者にとって自分自身のことを話す為の動機要因となるものは何であるか」

第2段落第1文から、③「認識されて、そして聞いてもらうこと」が適切である。

- ①「最初に出てくる問題」
- ②「話をする過程」
- ④「看護して、治療すること」
- motivating factor「動機要因」、○recognize「認識する」

(ケ) ④

「テキストによれば、次のどれが正しいか」

第3段落第1文より、④「医師が診察するたくさんの患者は、彼ら一人ひとりの経験とは等しくない」が正しい。

- ①「医師は、彼らの質問を簡潔に述べることに注意を向けるべきである」
- ②「医師は、患者に一時の中断もなく彼らの懸念を自由に表明させるべきではない」
- ③「患者と医師は、たっぷり使える時間の枠の中で、意思伝達しようと試みている」
- concisely「簡潔に」、○ample time「たっぷり使える時間」

(コ) ③

「このテキストにふさわしいタイトルを選べ」

第1段落に述べられている。③「看護と治療の為にコミュニケーションを取ること」がふさわしい。

(英文2)

和訳

私が16歳だった時のある夜、アップステートニューヨークにあるコーネル大の私の寮の部屋で寝た。そして6ヵ月後ニューヨーク市の病院のベッドで目を覚ました。私の病気は可能な限り最も劇的な方法で名乗りを上げた。私は大量の腸出血をおこしてしまい、それは私を長い昏睡状態にさせた。健康な人間としての私の生活は終わり、クローン病を患っ

た慢性的に病気の人としての私の人生が始まった。私が母親を初めて知るようになったのはその時のことであった。

キャリアウーマンとして、母はいつも長時間働いていたものだった。暗くなってから帰宅し、私を風呂に入れ、お話を読んで、おやすみなさいのキスをしてくれる時だけしか見ないこともたびたびだった。私は母のことを、子供時代の周辺にいる、いい香りがして週末に私を世話してくれる幾分謎に満ちた人物として覚えている。

しかし私がこん睡状態にあるその 6 ヶ月の間に、私たち両方にとって生活は変わってしまった。私は年老いた両親の一人っ子で、両親共に過保護であった。私の父の不安は医師の言葉によって強められた。もしも私がこん睡状態から回復するならば、私は、理解やコントロールができない病気によって厳しく制約を受けた、自分の身の回りのことを自分でできない人として生きることになるだろうと彼らは父に話した。私は多くの大手術を受けることになるだろう。私は 40 歳過ぎて生きることが期待されなかった。もちろん大学へ戻ることも問題外である。彼らの専門知識を尊重して、私の命のことを驚き怯えながら、すべての言葉を受け入れていた。

しかしこれは私の未来に対する私の考えではなかった。私はとても医師になりたかった。また甘やかされた一人っ子として自分の我がままを通すことに慣れていた。父と私は、何度か激しく意見を交わしたが、これらの最後をよく覚えている。私は左に父、右に母がいて、ベッドで横になっていた。医師の言葉をさらにもう一度繰り返しながら、父がその会話を支配した。医師がなんと言おうとも私は学校に戻ると怒って彼に言った時、彼は怒って私の授業料を与えないと返答した。そしてその時、母は初めて思っていることを言った。

彼女は完璧なキャリアウーマンだったが、ロシア生まれで、彼女の前に彼女の母がそうであったように同じく個人的な問題で夫の意思に従属的だった。彼女がかつて父の決定することの一つに質問したり、彼女自身で家族の決定したりすることは、私は覚えていない。しかしこれらはとき異なる。「私があなたの授業料を払います」と彼女は静かに言った。私の父は愕然とした。「そうする為のお金はどこからみつけるのか」と彼は問い詰めた。彼女は彼が何も話さなかったように続けた。「何年もの間、秘密の銀行口座を持っていました」彼女は同じ声のトーンで私に話した。「あなたはそれをすべてあげます」

私の母は、素晴らしい熟練した保健婦であった。24 時間後、彼女は医師らのアドバイスにそむいて病院から出る為のサインをし、小さな飛行機で私と一緒に大学まで戻った。それが彼女の初めての飛行機の搭乗であった。彼女は 6 ヶ月間私とそこで暮らし、私は弱くて歩けなかった時、教室まで連れて行き、時々私の車椅子を押し、何とか自分でできるようになるまでずっと私を世話してくれた。それから彼女は、私をそこに残して家に戻った。

私はなお病気の状態でとても弱っていたので、大変な 2 年間だった。普通の食事はできなかったし、普段の体重よりも 25 ないし 30 ポンド (11.34~13.61 キログラム) 下回っていた。私の症状をコントロールするのに飲まなくてはならない強力な薬は私の外見を根本的に変えてしまった。単に生きることだけが私を限界に追いやり、時々それを超えてしま

った。たびたび私は自分の苦しみに対して悲しむことでいっぱいになったが、自分自身以外に誰も頼る人はいなかった。ゆっくりと自分が持っていたが知らなかった強い力とこの新しい人生を生きることと続ける為の方法を見つけた。

数年後、私は母とこの困難な時期とそれがどんなに大切であったかについて話した。私は彼女に我々の毎日の電話のことを思い出させ、彼女のサポートと気にかけてくれたことに感謝をした。私は、ほとんどの親が保護して甘やかして助けて問題解決をする為に急いでやって来ただろう時期に、なぜ彼女はたった一人の子供を放してしまったのか不思議に思った。それは危険であった。彼女は怖くなかったのか。

「私はあなたのことを思うと怯えてしまった」と彼女は私に言った。「しかし私はあなたの夢のことを考えるとさらにもっと怯えた。もしそれが消えたならば、この病気はきっとあなたの命を奪っていただく」そして彼女は、私が医師になれるかどうかを確かめる為、試すためのチャンスを私に与えた。もし他人が私の代わりに人生を選んでいたら、いつも私はそれをする事ができたのかどうかと思案しながら、私はそこで立ち止まらされ、身動きできない状態で苦しんでいたかも知れない。「レイチェル、死に方は本当にいろいろあります」と彼女は私に言った。

私の目は涙でいっぱいになった。私は単にわかっていなかった。「じゃあ、もし私が失敗していたならば？お母さん」私は彼女に尋ねた。「もしあなたが失敗していたならば、あなたは何が現実かあなた自身でみつけたでしょう。そしてたいてい、やがてそれを受け入れて、もう一度夢をみる事ができたでしょう」

他人の人生をサポートすることは、複雑な問題である。我々は力や保護を提供する時期があるが、たいていこれらは一時的な手段でしかない。我々が提供する最大の恩恵は、彼らの自由の為に努力している中で我々が信じる気持ちを持つこと、彼らの人生の中で逃げ場や基盤となる力強さを彼ら自身で決定する際に、サポートして彼らに寄り添う勇気であるかもしれない。彼らが彼ら自身を信じる事ができない時に、誰かを信じることは特に大切であると私は思う。そうすればあなたの信じる気持ちは彼らの頼みの綱となるだろう。

<出題された単語・熟語・文法・センテンス>

- dormitory room 「寮の部屋」
- upstate New York 「アップステートニューヨーク(ニューヨーク州の北部、中部、西部を指す)」
- declare oneself 「名乗りを上げる、表明する」
- the most dramatic way possible 「可能な限り最も劇的な方法で」
- massive intestinal bleeding 「大量の腸出血」
- coma 「昏睡状態」
- chronically 「慢性的に」
- Crohn's disease 「クローン病」

- come to know 「知るようになる」
- shadowy figure 「謎に満ちた人物」
- periphery 「周辺」
- I am an only child 「私は一人っ子である」
- overprotective 「過保護な」
- invalid 「(病気や怪我などで) 自分の身の回りのことを自分でできない人」
- undergo surgery 「手術を受ける」
- respectful of 「～を尊重する」
- expertise 「専門知識」
- frighten 「驚き怯える」
- passionately 「熱烈に」
- be accustomed to 「～に慣れている」
- have one's own way 「我を通す, やりたいことを通す」
- lie - lay - lain - lying 「横になる」
- yet again 「さらにもう一度」
- angrily 「怒って」
- tuition 「授業料」
- speak up to 「思っていることを言う」
- subservient 「従属的」
- much as 「～と同じだけ」
- aghast 「愕然として」
- challenge 「異議を唱える, 問い詰める」
- superbly 「非常に良い」 * = excellent
- wheelchair 「車椅子」
- care for 「世話する」
- I was still sick and very weak. 「私はなお病気の状態にあり, とても弱っていた」
- pound 「ポンド」 * 1 ポンド = 453 g = 0.454kg
- powerful drug 「強力な薬」
- radically 「根本的に」
- push me to my limit 「私を限界に追いやる」
- self-pity 「自分の苦しみに対して悲しむこと」
- let go of 「放す」
- rush in 「急いでやって来る」
- pamper 「甘やかす」
- fix 「問題解決をする」
- terrified 「怯えた, 恐れた」

- frightened 「怯えた, 恐れた」
- I might have been stopped there, frozen and bitter 「私はそこで立ち止まらされ, 身動
きできない状態で苦しんでいたかも知れない」
- in time 「やがて」
- befriend 「助ける」 * = assist, support, help
- complex matter 「複雑な問題」
- temporary measure 「一時的な手段」
- the greatest blessing 「最大の恩恵」
- struggle for freedom 「自由の為に努力すること」
- the courage to support and accompany them 「サポートして彼らに寄り添う勇氣」
- strength 「力強さ」
- refuge 「逃げ場」
- foundation 「基盤」
- lifeline 「頼みの綱」

(サ) ②

「筆者の病気はどのようにして現れたのか」

第1段落第2文 My disease had declared itself for the first time in the most dramatic way possible. より, ② abruptly 「突然に」が適切である。

- ① possibly 「ひょっとしたら」
- ③ gradually 「少しずつ」
- ④ chronically 「慢性的に」

(シ) ①

feed を含む文の意味は「私の父の不安は医師の言葉によって強められた」という意味である。feed には「餌を与える」という意味の他に「恐れをあおぐ」, 「欲望を満足させる」, 「目や耳を楽しませる」という意味が含まれている。

(ス) ④

stormy 「嵐のように激しい」とあるので, argument のような言葉が入ることが推測できる。同義語の confrontation 「対立, 論争」がふさわしい。

(セ) ③

「どのようにしてその著者は学校へ戻ることができたのか」

第5段落後半の母の会話から読み取れる。③「母が授業料を払うことを申し出てくれた」

が適切である。

(ソ) ①

「テキストによれば、母が帰った後の2年間で筆者はどのように変わったのか」
第7段落最終文 *Slowly I found a strength I had not known I had and a way to live this new life and go on.* から、①「彼女は自分で生きる為の強さと方法を見つけた」が適切である。

(タ) ④

すべてあてはまるように思えるがあえて一つを選ぶのであれば④care「世話、気にかけてくれること」がふさわしい。
○belief「信念」、○protection「保護」

(チ) ③

claimには「病気などで命を奪う」の意味がある。e.g. *claim a life*「人命を奪う」

(ツ) ①

「なぜ筆者の母は困難な時に、彼女を一人にしたのか」
第8段落全体と第9段落第3文 *she had given me the chance to try, to see if I could become a doctor.* から、①「彼女の母は筆者に夢を試して実現するチャンスを与えようとした」が適切である。
○pamper「甘やかす」、○fix「問題解決をする」

(テ) ④

「他人の人生をサポートする為に大切なことは何であると筆者は考えているか」
最終段落第4文 *I think it is especially important to believe in someone at a time when they cannot yet believe in themselves.* から、④「彼らがまだ自分自身を信じられない時に彼らの能力を信じてあげること」が適切である。
○befriend = support, ○temporary measure「一時的な手段、臨時的措置」、○believe in「～を信じる」

(ト) ④

「このテキストから何が推測できるか」
第9・10段落から、④「著者は、彼女の必死で医師になろうと努力することを信じてくれた彼女の母に感謝した」がふさわしい。

○struggle to 「～しようと必死で努力する」

<出題された単語・熟語・文法>

- stick with 「離れない」
- wake up 「起きる」
- get in shape 「体を鍛える, 体調を整える, シェイプアップする」
- half a dozen eggs 「玉子半ダース」
- half a dozen bottles 「瓶6本」
- so-called 「いわゆる」
- work out 「苦心して作り出す」
- in those days 「その当時, その頃」
- material 「材質, 材料」
- be no small feat 「至難の業である」
- put on sunscreen 「日焼け止めを塗る」
- on a block 「ある区画に」
- for free 「無料で」
- academic 「研究者」
- put ~ on sleep 「~を寝付かせる, 眠らせる」
- sacred place 「神聖な場所」
- whatever you like 「あなたが好きなものは何でも」
- have a falling out with ~ 「とけんかする」
- the nature of your visit 「あなたの訪問の理由」
- pursue a career 「キャリアを積む」
- molecular 「分子の」
- get ready 「準備する, 用意する」
- It is only appropriate. 「どうみても適切だ」
- ophthalmology 「眼科学」
- bankruptcy 「倒産」
- go bankrupt 「破産する」
- mostly 「ほとんど, 大部分は」
- a large audience 「多くの聴衆」
- crux 「ポイント, 核心」
- linguistics 「言語学」
- gender equality 「男女平等」
- intimate 「親密な, 親しい」

- truly 「正確に」
- illness 「病気, 体調不良」
- disease 「病気, 重病」
- integrate 「まとめる」
- interpret 「解釈する」
- committed to 「～に全力で取り組む」
- consequently 「その結果として」
- take pains to 「苦心して～する」
- fulfillment 「達成, 実現」
- therapeutic 「広い意味での治療」
- in its own right 「それ自体で」
- cathartic release 「精神的な安心」
- insight and perspective 「洞察と将来の見通し」
- the context for the clinical insight 「臨床洞察の為の前後関係」
- arithmetic 「計算, 勘定」
- constraint 「制限, 制約」
- short appointment block 「短い予約コマ」
- in this context 「この状況において」
- unfortunate 「不幸な」
- patient's assumption 「患者の思い込み」
- be address in a explicit manner 「はっきりとわかる態度で表明される」
- facilitate the story telling 「話をするということを容易にする」
- be not encouraged to ~ 「～することを働きかけてもらえない」
- very often 「非常に多くの場合」
- medical care 「医療サービス」
- medical complaint 「医療の不満」
- the primary and most pressing 「最も重要で優先順位の高い」
- unrelated to ~ 「～と無関係である」
- the visits studied 「その調査された訪問 (全体)」
- follow up on 「～ついて徹底的に追求する」
- analysis the concerns raised by patients 「患者によって提示された懸念の分析」
- in a haphazard manner 「成り行きで」
- inconsistent attention 「一貫性のない注意」
- receive inconsistent attention 「首尾一貫していない関心を受ける」
- replication of this study 「この研究の反復実験」
- be redirected 「切り替えられる」

- dormitory room 「寮の部屋」
- declare oneself 「名乗りを上げる, 表明する」
- the most dramatic way possible 「可能な限り最も劇的な方法で」
- massive intestinal bleeding 「大量の腸出血」
- coma 「昏睡状態」
- chronically 「慢性的に」
- come to know 「知るようになる」
- shadowy figure 「謎に満ちた人物」
- periphery 「周辺」
- I am an only child 「私は一人っ子である」
- overprotective 「過保護な」
- invalid 「(病気や怪我などで) 自分の身の回りのことを自分でできない人」
- undergo surgery 「手術を受ける」
- respectful of 「～を尊重する」
- expertise 「専門知識」
- frighten 「驚き怯える」
- passionately 「熱烈に」
- be accustomed to 「～に慣れている」
- have one's own way 「我を通す, やりたいことを通す」
- lie - lay - lain - lying 「横になる」
- yet again 「さらにもう一度」
- tuition 「授業料」
- speak up to 「思っていることを言う」
- subservient 「従属的」
- much as 「～と同じだけ」
- aghast 「愕然として」
- challenge 「異議を唱える, 問い詰める」
- superbly 「非常に良い」 * = excellent
- wheelchair 「車椅子」
- care for 「世話する」
- I was still sick and very weak. 「私はなお病気の状態にあり, とても弱っていた」
- pound 「ポンド」 * 1 ポンド = 453 g = 0.454kg
- powerful drug 「強力な薬」
- radically 「根本的に」
- push me to my limit 「私を限界に追いやる」
- self-pity 「自分の苦しみに対して悲しむこと」

- let go of 「放す」
- rush in 「急いでやって来る」
- pamper 甘やかす
- fix 「問題解決をする」
- terrified 「怯えた, 恐れた」
- frightened 「怯えた, 恐れた」
- in time 「やがて」
- befriend 「助ける」
- complex matter 「複雑な問題」
- temporary measure 「一時的な手段」
- the greatest blessing 「最大の恩恵」
- struggle for freedom 「自由の為に努力すること」
- the courage to support and accompany them 「サポートして彼らに寄り添う勇気」
- refuge 「逃げ場」
- foundation 「基盤」
- lifeline 「頼みの綱」